

# 事業概要

(平成20年度のまとめ)

京都府立図書館

# 目 次

## I 年次概要

1 平成20年度の主な動き	1
2 資料・利用	1

## II 図書館資料

1 総資料数・年間収集資料数	2
2 図 書	2
(1) 資料数	
(2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数	
(3) 視聴覚資料・障害者用資料	
3 逐次刊行物	3

## III 利用の状況

1 開館日数	4
2 入館者数	4
3 登録者数	4
4 個人貸出	4
(1) 貸出者数	
(2) 貸出図書数	
(3) 借受提供	
5 図書館等への貸出（一括貸出を除く）	5
6 市町村への一括貸出	6
7 調査相談	6
8 対面朗読サービス	6
9 点字・音声資料貸出	7
10 マルチメディア利用	7
11 複写利用	7
12 取寄せ申込みeサービス依頼件数	7
13 館外からのホームページアクセス件数	7

IV 京都府図書館総合目録ネットワーク(K-Libnet)の状況(21年8月1日現在)	8
---	---

V	事業その他	
1	連絡協力車の運行	9
	(1) 搬送の内訳	
	(2) 搬送コース	
2	図書館事業等	10
	(1) 読書週間記念講演会の実施	
	(2) 子ども読書活動の振興	
	(3) 図書館・読書施設等職員研修の実施	
VI	組織及び職員数 (21年4月1日現在)	10
VII	経費	11
VIII	施設の概要等	11
IX	沿革	12
	【参考】京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針	19

# I 年次概要

## 1 平成20年度の主な動き

京都府内 26 市町村すべてを結ぶ京都府総合目録ネットワーク (K-Libnet) は、参加館は 67 館であり、蔵書データ提供館は 58 館で、うち横断検索館は年々増加し 37 館となっている。府内の公共図書館・読書施設間の相互貸借冊数は 41,559 冊であり、その内訳は、府立図書館から市町村等への貸出が 17,449 冊 (過去最高)、市町村等からの府立図書館の借受が 1,311 冊、市町村間の相互貸借が 22,799 冊 (過去最高) となっており、相互協力システムは順調に推移している。

市町村図書館・読書施設等の職員の資質向上のため、研修事業の充実を図り、「図書の修理・製本講習会」「読み聞かせ講習会」「レファレンス講習会」「図書の展示・館内ディスプレイ講習会」など幅広い内容の研修を北部・中部・南部会場で実施した。

5月15日からインターネットによる貸出延長サービスを開始したり、9月からは、学校教育活動への連携・協力の一環として、調べ学習等に役立つ図書をジャンルごとにパッケージにして貸出す「学校支援セット貸出」の事業を開始した。平成21年3月には、デジ資料 (デジタル録音図書) 等の「音声目録CD-ROM (デジ版)」を作成し、市町村立図書館、府立盲学校、利用を希望する視覚障害者の方に配布するなど、利用者の利便性の向上を図った。

また、府民の生涯学習を推進するため、10月23日には、源氏物語千年紀にちなみ、「王朝の姫君～語りと笛で織りなす『源氏物語』～」と題して講演会を開催した。

さらに、当館の源氏物語に関わる図書資料の有効活用を図るため、平成20年3月28日から12月24日まで、源氏物語千年紀パネル展を開催し、平成21年1月18日から2月24日にかけては、パネル展を締めくくる企画として、54帖のパネルを3回に分けて一挙展示した。

なお、その他の事業として、9月3日に、同志社大学において、「図書館からのアプローチ～新たな広報戦略～」をテーマに第17回京都図書館大会が開催された。

## 2 資料・利用

### (1) 資料数

平成20年度中の資料収集は、購入図書、寄贈図書等を 27,029 冊受け入れ、蔵書数は 841,716 冊となった。

なお、図書以外に逐次刊行物が、259,561 冊相当あり、総計の蔵書数は 1,101,277 冊である。

### (2) 個人貸出

#### ア 当館直接貸出

個人貸出は、総数で延べ 105,150 人、206,814 冊である。

#### イ 他館経由貸出

府内の市町村立図書館等への貸出 (一括貸出を除く) は 21,427 冊、他府県の公立図書館等への貸出は 553 冊であり、総数 21,980 冊である。

#### ウ 市町村への一括貸出

府内の図書館未設置町村を支援するための貸出は、長期貸出が 31,000 冊、貸出文庫が 80,589 冊であり、総計で 111,589 冊である。

## Ⅱ 図書館資料

### 1 総資料数・年間収集資料数

図書数 841,716 冊、逐次刊行物 259,561 冊 (図書換算数)、総資料数 1,101,277 冊

年間収集資料数 図書・視聴覚資料 27,029 冊 (点)

逐次刊行物 413 タイトル (購入分のみ)

### 2 図書

#### (1) 資料数

(単位：冊)

区 分		20 年度受入冊数				20 年度末 図書数	うち 児童書	うち 京都資料	うち 外国語資料
		購 入	寄 贈	その他	計				
館内閲覧 個人 貸出用	図書資料	9,556	3,123	6,526	19,205	696,114	46,900	18,893	19,028
	視聴覚資料	307	102	27	436	21,312			
	計	9,863	3,225	6,553	19,641	717,426			
市町村 支援用	長期貸出					15,000	76,922		
	貸出文庫	7,186	202		7,388	109,290			
	計	7,186	202		7,388	124,290			
合 計		17,049	3,427	6,553	27,029	841,716	123,822	18,893	19,028

(注)外国語資料には、児童書、京都資料の外国語資料を含む。

#### (2) 館内閲覧・個人貸出用図書の分類別数

(単位：冊、%)

分 類	冊 数	百 分 比
0 総 記	36,064	5.0
1 哲 学	35,844	5.0
2 歴 史	73,843	10.3
3 社 会 科 学	148,493	20.7
4 自 然 科 学	42,792	6.0
5 技 術	48,582	6.8
6 産 業	36,150	5.0
7 芸 術	45,779	6.4
8 言 語	13,042	1.8
9 文 学	143,603	20.0
小 計	624,192	87.0
教 科 書	21,850	3.1
児 童 書	46,900	6.5
そ の 他	24,484	3.4
合 計	717,426	100.0

(3) 視聴覚資料・障害者用資料

視聴覚資料

区 分	20年度末タイトル数 (点数)
CD	592 ( 733)
CD-ROM	1,188 (1,311)
DVD	1,472 (1,474)
DVD-ROM	214 ( 214)
ビデオテープ	3,164 (3,175)
カセットテープ	881 (2,704)
マイクロフィルム	125 (7,391)
マイクロフィッシュ	401 (3,729)
デージー資料	581 ( 581)
計	8,618 (21,312)

障害者用資料

区 分	20年度末タイトル数 (点数)	摘 要
大活字本	2,412 (2,412)	
点字図書	356 (1,476)	
デージー資料	581 ( 581)	「視聴覚資料」の「デージー資料」の再掲
テープ資料	881 (2,704)	「視聴覚資料」の「カセットテープ」の再掲

(注)「大活字本」以外は、(2)「館内閲覧・個人貸出用図書」の「その他」の内数

3 逐次刊行物

区 分	新 聞	雑 誌	計
年間購入タイトル数	14	399	413
既存受入タイトル数	88	10,183	10,271

### Ⅲ 利用の状況

1 開館日数 273 日

2 入館者数 317,816 人 (1 日平均 1,164 人)

3 登録者数 6,015 人

<累計 74,184 人 (京都市内 82.2%、その他地域 8.5%、他府県 9.3%)>

4 個人貸出 (利用者登録した個人への貸出)

(1) 貸出者数 延べ 105,150 人 (1 日平均 385 人)

(2) 貸出図書数 206,814 冊 (1 日平均 758 冊)

内、インターネット貸し出し待ち登録サービスによる貸出図書数 1,947 冊

(3) 借受提供 (他の図書館等から資料を借り受けて利用者に提供)

(単位：冊)

借 受 先		借 受 冊 数
府 内	市町村立図書館等 (①)	1,311
府 外	国立国会図書館 (②)	105
	他府県立図書館 (③)	650
	他府県内市町村立図書館等 (④)	356
	計	1,111
合 計		2,422

(①) 市町村立図書館等の主な内訳

八幡市立八幡市民図書館(91)、宇治市中央図書館(84)、京都学園大学図書館(72)、精華町立図書館(71)、城陽市立図書館(70)、亀岡市立図書館(68)、長岡京市立図書館(50)、綾部市図書館(50)、久御山町立図書館(49)、京田辺市立中央図書館(48)、井手町図書館(46)、宮津市立図書館(44)、宇治田原町立図書館(43)、木津川市立山城図書館(42)、南丹市立中央図書館(42)、京丹後市立あみの図書館(35)、木津川市立中央図書館(33)、与謝野町立図書館(33)、京都市醍醐中央図書館(31)、南丹市日吉図書室(30)、向日市立図書館(28)、木津川市立加茂図書館(27)、南丹市八木図書室(26)、舞鶴市立西図書館(25)、京都市中央図書館(22)

(2) 国立国会図書館の内訳

東京本館(94)、関西館(9)、国際子ども図書館(2)

(3) 他府県立図書館の主な内訳

大阪府(99)、兵庫県(93)、滋賀県(62)、三重県(39)、愛知県(32)、岡山県(31)、神奈川県(28)、埼玉県(25)、北海道(18)、和歌山県(16)、東京都(16)、富山県(15)、石川県(13)、千葉県(13)、福井県(12)、香川県(10)、静岡県(9)、宮城県(9)、秋田県(8)、高知県(8)、長野県(7)、茨城県(7)

(4) 他府県内市町村立図書館等の主な内訳

茨木市(84)、大阪市(54)、枚方市(37)、堺市(16)、神戸市(13)、阪南市(11)

5 図書館等への貸出（一括貸出を除く）

(単位：冊)

貸 出 先		貸 出 冊 数	摘 要
府 内	市町村立図書館等（※）	17,449	26 市町村他
	学校図書室	3,978	府立高校 30 校他
	計	21,427	うち、学校支援セット貸出 1,375 冊
府 外	他府県公立図書館・大学等	553	
合 計		21,980	

(※) 市町村立図書館等の内訳

(単位：冊、%)

地 域 区 分	貸 出 冊 数	百 分 比
京都市	1,651	9.5
乙訓地域	2,066	11.8
山城地域	5,657	32.4
南丹地域	2,546	14.6
中丹地域	3,057	17.5
丹後地域	2,350	13.5
府立総合資料館	29	0.2
その他	93	0.5
合 計	17,449	100.0

## 6 市町村への一括貸出

(単位：冊)

区 分	貸 出 冊 数	摘 要
長期貸出 (①)	31,000	図書館未設置5町村 (すべて継続貸出)
貸出文庫 (②)	80,589	
合 計	111,589	

### (①) 長期貸出の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
大山崎町	6,000	笠置町	5,000	南山城村	5,000
京丹波町	10,000	伊根町	5,000		

### (②) 貸出文庫の内訳

(単位：冊)

市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数	市町村名	貸出冊数
向日市	1,460	長岡京市	305	大山崎町	686
城陽市	189	木津川市	600	南山城村	4,535
南丹市	16,546	福知山市	11,194	綾部市	2,270
宮津市	7,709	与謝野町	16,000	伊根町	7,030
京丹後市	12,065				

## 7 調査相談

(単位：件)

区 分	相談件数	摘 要
調 査 相 談	17,255	
マルチメディア相談	121	マルチメディア閲覧室関係で所蔵調査を含む。
市町村からの調査相談	76	
合 計	17,452	

## 8 対面朗読サービス

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延利用者数	4	4	5	2	5	4	3	5	4	4	4	4	48
実施時間	8	8	10	4	10	8	6	10	8	8	8	8	96

9 点字・音声資料貸出

(単位：点)

資料区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
テープ	11	13	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	30
C D	20	31	36	30	11	20	26	20	30	37	10	10	281
ディジー	11	10	16	13	27	29	19	19	24	33	21	13	235
合計	42	54	56	43	38	51	45	39	54	70	31	23	546

10 マルチメディア利用

(単位：人)

利用区分	年間利用者数	1日平均
インターネット端末	33,097	121
C D - R O M 端末	3,682	13
A V ブース利用	6,536	24
マイクロフィルム	849	3
合計	44,164	

11 複写利用

(単位：枚)

区分	利用枚数	摘要
図書資料	309,199	白黒 303,818、カラー 5,381
CD-ROM、外部DB	7,287	貴重書DBを含む
マイクロフィルム	5,283	
合計	321,769	

12 取寄せ申込み e サービス依頼件数 1,259 件

13 館外からのホームページアクセス数 304,009 件

## IV 京都府図書館総合目録ネットワーク (K-Libnet) の状況 (21年8月1日現在)

図書館・読書施設名	所蔵資料検索参加館		その他の参加館	
	横断検索館	データ提供館		
府立図書館	○			
府立総合資料館	○			
京都市	中央図書館	○		
	右京中央図書館	○		
	伏見中央図書館	○		
	醍醐中央図書館	○		
	北図書館	○		
	左京図書館	○		
	岩倉図書館	○		
	東山図書館	○		
	山科図書館	○		
	下京図書館	○		
	南図書館	○		
	吉祥院図書館	○		
	久世ふれあいセンター図書館	○		
	西京図書館	○		
	洛西図書館	○		
	向島図書館	○		
	醍醐図書館	○		
	久我のもり図書館	○		
	子育て支援総合センター こどもみらい館子育て図書館	○		
移動図書館	○			
向日市立図書館		○	128,066件	
長岡京市立図書館		○	198,090件	
大山崎町立中央公民館図書室			○	
宇治市中央図書館	○			
城陽市立図書館	○			
久御山町立図書館		○	113,272件	
八幡市立八幡市民図書館	○			
京田辺市立中央図書館		○	223,980件	
井手町図書館	○			
宇治田原町立図書館		○	68,019件	
木津川市	市立中央図書館	○	109,601件	
	市立加茂図書館	○	58,039件	
	市立山城図書館	○	75,254件	
精華町立図書館	○			
笠置町中央公民館図書室			○	
和束町体験交流センター図書室			○	
南山城村図書室			○	
亀岡市立図書館		○	177,511件	
南丹市	市立中央図書館	○		
	八木図書室	○		
	日吉図書室	○		
	美山図書室	○		
京丹波町	町立中央公民館図書室	○	22,294件	
	瑞穂支所瑞穂教育分室			
	和知ふれあいセンター図書室			
綾部市図書館		○	62,778件	
福知山市	図書館中央館	○	93,035件	
	市立図書館三和分館	○	14,249件	
	市立図書館夜久野分館	○	27,319件	
	市立図書館大江分館			○
舞鶴市	市立東図書館	○	94,425件	
	市立西図書館	○	84,698件	
宮津市立図書館	○		101,342件	
与謝野町	町立図書館	○	45,748件	
	町立図書館野田川分室	○	16,807件	
	町立図書館加悦分室	○	14,610件	
伊根町教育委員会図書室			○	
京丹後市	市立峰山図書館	○		
	市立図書館大宮図書室	○		
	市立図書館弥栄図書室	○		
	市立あみの図書館	○		
	市立図書館丹後図書室	○		
	市立図書館久美浜図書室	○		
京都ライトハウス情報ステーション			○	
京都学園大学図書館		○	265,270件	
合 計	37館	21館	1,994,407件	9館
	58館 (21市町1大学)			

## V 事業その他

### 1 連絡協力車の運行

府内の各図書館・読書施設との資料の相互貸借、情報交換、技術指導・助言、資料の収集また府立高校との機関貸出図書の搬送を行うため、次の5コースにより26市町村、15府立高校40施設へ毎週1回（一部3箇月に1回）、合計255回の運行を実施した。

#### (1) 搬送の内訳

(単位：冊)

区 分	搬 送 冊 数
府立図書館から市町村への搬送	17,449
市町村から府立図書館への搬送	1,311
計	18,760
市町村と市町村との間の搬送	22,799
小 計	41,559
寄贈図書の搬送	3,893
合 計	45,452

#### (2) 搬送コース

コース名	順 路
A コース	京都府立図書館→京都学園大学図書館→亀岡市立図書館→南丹高校(→南丹市八木図書室)→南丹市立中央図書館→農芸高校(→南丹市日吉図書室)→京丹波町立中央公民館図書室(→京丹波町和知ふれあいセンター図書室)→南丹市美山図書室)→北桑田高校→京都ライトハウス情報ステーション→京都府立総合資料館→京都府立図書館
B コース	京都府立図書館→洛水高校→八幡市立八幡市民図書館→京田辺市立中央図書館→精華町立図書館→木津川市立中央図書館→和束町体験交流センター図書室→南山城村教育委員会→笠置町中央公民館図書室→京都すばる高校→京都府立図書館
C コース	京都府立図書館→東宇治高校→宇治市中央図書館→宇治田原町立図書館→井手町図書館→城陽市立図書館→久御山町立図書館→大山崎町立中央公民館図書室→長岡京市立図書館→向日市立図書館→京都市中央図書館→京都府立図書館
D コース	京都府立図書館→綾部市図書館→舞鶴市立西図書館→東舞鶴高校→大江高校→工業高校→福知山市図書館中央館→京都府立図書館
E コース	① 京都府立図書館(→与謝野町立図書館加悦分室)→加悦谷高校(→与謝野町立図書館野田川分室)→宮津市立図書館→与謝野町立図書館→伊根町本庄地区公民館(→京丹後市立図書館大宮図書室→京丹後市立図書館久美浜図書室)→峰山高校弥栄分校(→京丹後市立図書館弥栄図書室→京丹後市立図書館丹後図書室)→京丹後市立峰山図書館 ② →網野高校→京丹後市立あみの図書館→久美浜高校→洛西高校→北嵯峨高校→京都府立図書館

## 2 図書館事業等

### (1) 読書週間記念講演会の実施

府民の生涯学習を推進するため、10月23日に「王朝の姫君～語りと笛で織りなす『源氏物語』～」と題して講演会を開催し、72名の府民の参加を得た。講演では、十二単の衣装を身に着けた六嶋由美子氏の語りと野中久美子氏の能管のコラボレーションが、会場全体に平安時代の雰囲気をつくりだし、参加者は興味深く聞き入っていた。

### (2) 子ども読書活動の振興

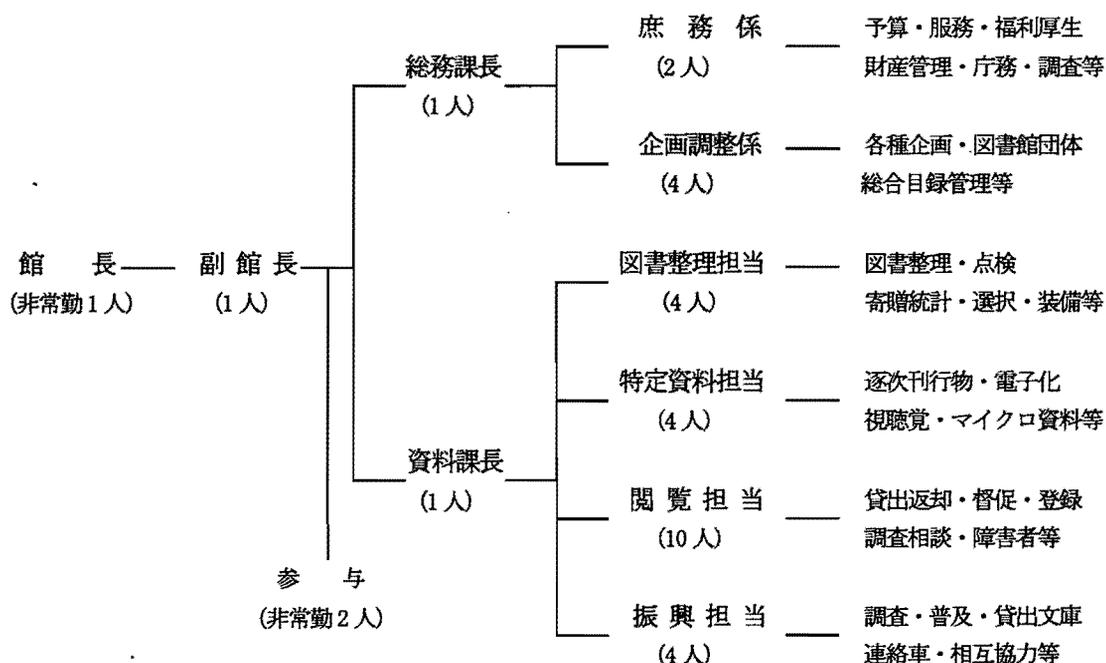
「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、毎年4月23日が「子ども読書の日」と定められたことにあわせて、子どもたちの読書活動を推進するきっかけとなり、生涯にわたり読書に親しむ習慣が身につくことを期待し、平成14年度から「子ども読書絵てがみコンテスト」を京都府図書館等連絡協議会との共催で実施している。平成20年度は、京都文化博物館において表彰式を行い、約3週間作品を展示したほか、府内21市町村29箇所において巡回展示を行った。

### (3) 図書館・読書施設等職員研修の実施

府内図書館等職員を対象に、「図書の修理・製本講習会」を北部会場は5月27日、中部会場は6月10日に、南部会場は6月19日に実施した。また、「読み聞かせ講習会」を北部会場は7月4日に、中部会場は7月25日、南部会場は9月4日に実施した。また、「レファレンス講習会」を北部会場は10月10日に、中部会場は10月28日に、南部会場は11月12日に実施した。更に、「図書の展示・館内ディスプレイ講習会」を北部会場は11月28日に、中部会場は12月5日に、南部会場は1月21日に実施した。

## VI 組織及び職員数 (21年4月1日現在)

常勤職員 31人、非常勤職員 16人 (館長1人・参与2人・嘱託11人・臨時職員2人)



## Ⅶ 経 費

(単位：千円)

科 目	事 項	金 額	
図 書 館 費	人 件 費	303,742	
	資 料 費	図 書	41,631
		逐次刊行物	5,869
		計	47,500
	そ の 他	187,990	
	計	539,232	
事 務 局 費	人 件 費	4,364	
	そ の 他	4	
	計	4,368	
教育連絡調整費	そ の 他	300	
合 計		543,900	

## Ⅷ 施設の概要等

所在地等	〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地 TEL 075-762-4655 FAX 075-762-4653 ホームページ <a href="http://www.library.pref.kyoto.jp">http://www.library.pref.kyoto.jp</a>
開 館	平成13年5月11日(建替による開館、府立図書館設置は明治31年)
主たる構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階 数	地上4階地下2階
敷地面積	3,740 m <sup>2</sup>
延床面積	7,478 m <sup>2</sup> (地下2階2,296 m <sup>2</sup> 、地下1階2,049 m <sup>2</sup> 、1階1,129 m <sup>2</sup> 、 2階746 m <sup>2</sup> 、3階701 m <sup>2</sup> 、4階557 m <sup>2</sup> )
建築費	617,415万円(外構工事・設備・家具等を含む)
利用者用端末	OPAC20台、CD-ROM閲覧端末9台、外部データベース閲覧端末6台、インターネット閲覧端末19台、貴重書データベース閲覧端末2台、ビデオブース8台、オーディオブース3台
一般開架	1,710 m <sup>2</sup> 。10万冊の開架が可能
書 庫	1,776 m <sup>2</sup> 。自動化書庫内の10,509個のコンテナに約40万冊の図書収蔵が可能。閉架書庫内の集密書庫は大半が積層であり、28,284棚に約100万冊の図書収蔵が可能。
開館時間	火曜日～土曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日 午前9時30分～午後5時
休 館 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民の祝日に関する法律に規定する休日</li> <li>・月曜日(月曜日が前号に該当するときは、その翌日)</li> <li>・毎月第4木曜日</li> <li>・年末年始(12月28日～翌年1月4日)</li> <li>・特別整理期間</li> </ul>

## IX 沿革

明治31年 (1898)	4月	府立京都図書館御苑内創立 館長 三宅五郎三郎就任
"	6月	業務開始
33年 (1900)		夜間開館開始 館長 原田千之助異動、中道貫一館長就任
36年 (1903)	10月	巡回図書館(貸出文庫)制度開始
37年 (1904)	3月	湯浅吉郎館長就任
38年 (1905)	4月	児童室開設
39年 (1906)	6月	館外貸与規則制定告示
"	11月	新館起工式
42年 (1909)	2月	新館竣工
"	3月	京都府立京都図書館規則告示
"	4月	新館開館
大正5年 (1916)	5月	湯浅吉郎館長退職
"	10月	北島貞顕館長就任
8年 (1919)	1月	本館図書分類目録編纂に着手
11年 (1922)	4月	貸出文庫を増設
14年 (1925)	3月	児童室閉鎖
昭和3年 (1928)	3月	帯出規程告示
"	4月	個人貸出実施
"	6月	和漢図書分類目録 分類表12冊作製
8年 (1933)	10月	京都府中央図書館に指定
15年 (1940)	11月	北島貞顕館長退職 内藤乾吉館長就任
16年 (1941)	5月	児童室復活開室
22年 (1947)	7月	内藤乾吉館長退職 西村精一館長就任
"	8月	館外貸出廃止
23年 (1948)	4月	児童室を元貴賓室に移転
"	9月	読書ルーム開設(河原町丸善京都店地下)
24年 (1949)	4月	読書相談開始
"	6月	河原町分館開館(河原町丸善京都店地下)
25年 (1950)	2月	伏見分館開館(伏見信用金庫2階)
"	3月	巡回図書館(貸出文庫)廃止
"	6月	宮津地方分館開館(宮津町役場内)
"	7月	綾部地方分館(綾部市立図書館内)及び 峰山地方分館(丹後地方教育局内)開館
"	8月	学生自由閲覧室新設
"	11月	京都府立図書館設置条例公布(条例第62号)
26年 (1951)	4月	上京分館開館(北区紫郊会館内)

昭和26年 (1951)	9月	本館大閲覧室屋根修理着工 休館
"	10月	本館蔵書一部知恩院倉庫に別置
"	11月	本館大閲覧室安全開架式を実施
"	12月	本館新体制で開館
27年 (1952)	6月	本館読書相談係設置
"	7月	園部地方分館 (園部町立図書館内) 北桑田地方分館 (京北町下中) 及び 木津地方分館 (旧役場内) 開館
28年 (1953)	4月	宮津地方分館移転 (宮津市立図書館内) 本館月曜日休館を実施
29年 (1954)	2月	伏見分館新築工事着工
"	7月	木津地方分館移転 (木津小学校内) 伏見分館庁舎竣工移転
"	9月	京都府立図書館「善本目録」作製
30年 (1955)	6月	峰山地方分館移転 (丹波公民館内)
"	9月	青年学級文庫実施
31年 (1956)	5月	上京分館移転 (桜谷文庫内)
"	9月	河原町分館閉館
32年 (1957)	6月	中京分館 (河原町分館改称) 開館 (烏丸庁舎内)
"	10月	宮津地方分館移転 (労働セツルメント内)
35年 (1960)	10月	中京分館館外貸出実施
37年 (1962)	9月	峰山地方分館移転 (丹波小学校内)
38年 (1963)	3月	本館読書相談係・学生自由閲覧室・貸出文庫閉鎖 蔵書の一部を府立総合資料館へ移管
"	5月	木津地方分館移転 (町民センター内)
"	7月	綾部地方分館移転 (市民センター内)
"	10月	西村精一館長転出 (京都府立総合資料館長へ) 相馬利雄館長就任
"	11月	本館 日曜・土曜午後・夜間を休館
"	12月	児童室 土・日曜休室
39年 (1964)	1月	本館外装改修工事
"	5月	本館夜間・土曜午後再開 (9時まで) 貸出室設置 児童室館外貸出実施土曜日開室 宮津地方分館移転 (宮津市立図書館内) 伏見分館館外貸出実施
"	7月	市内分館 日曜日休館を実施
40年 (1965)	1月	中京分館仮移転 (京一商同窓会館)
"	7月	児童室に母親文庫設置
"	9月	府教育委員会基本規則一部改正
"		教育庁係等設置規程一部改正により図書館に課制実施
"	11月	中京分館移転 (京都府中京庁舎内)

昭和41年	(1966)	9月	綾部地方分館閉館
"		11月	園部地方分館閉館 自動車文庫命名式(嵯川知事「あゆみ号」と命名) 移動図書館事業開始
42年	(1967)	7月	本館修繕工事
"		9月	貸出室移転再開
44年	(1969)	12月	本館夜間閉館時間(7時)に変更
45年	(1970)	8月	相馬利雄館長退職、荒尾利就館長事務取扱就任・転出 岩崎彰之助館長就任
46年	(1971)	8月	宮津地方分館新宮津市立図書館内に移転 本館貸出室の図書を閲覧室に統合 第2閲覧室開室 貸出方式をブラウン方式に切替
47年	(1972)	4月	岩崎彰之助館長転出 吉川博明館長就任
"		11月	自動車文庫「あゆみ号」の更新
48年	(1973)	4月	上京分館館外貸出実施
"		6月	吉川博明館長転出 庄林二三雄館長就任
49年	(1974)	4月	庄林二三雄館長退職 宮本英男館長就任
50年	(1975)	3月	木津地方分館閉館 身体障害者用便所・スロープ新設 宮本英男館長退職
"		4月	布村忠雄館長就任
"		5月	本館(閲覧室・中央カウンター・新聞雑誌室開設)内装工事 本館閲覧室を完全開架式に切替
51年	(1976)	4月	本館閲覧用目録作成に着手
"		5月	上京分館閉館(51.5.8)
"		6月	京都府図書館等連絡協議会発足、府立図書館に事務局を置く
"		7月	児童室改修工事
53年	(1978)	3月	本館改修工事(外装・屋根葺替・玄関・防災設備) 本館閲覧用目録整備完了
54年	(1979)	3月	本館書庫の改修工事
"		4月	国会図書館からの図書貸出制度発足 本館自習室を閉鎖
"		7月	本館・伏見分館の冷暖房工事完了
"		8月	北桑田地方分館仮移転(京北農業協同組合弓削支所内)
"		11月	自動車文庫「あゆみ号」の更新 「専門情報機関要覧」刊行
55年	(1980)	3月	北桑田地方分館閉館(55.3.31)
"		4月	布村忠雄館長転出 長谷川啓司館長就任 峰山地方分館移転(峰山町中央公民館内)
56年	(1981)	4月	長谷川啓司館長転出 浜辺一彦館長就任
"		9月	移動図書館用電動集密書架設置

昭和56年	(1981)	12月	伏見分館改修工事
57年	(1982)	4月	伏見分館宿日直を廃止し警備会社に委託
〃		7月	障害者サービス(対面朗読)実施
58年	(1983)	2月	生涯教育推進事業として読書推進講座実施
〃		3月	「京都府の公共図書館」刊行 伏見分館ブックポスト設置
〃		6月	図書館協力貸出本格実施
〃		7月	新着図書案内発行
59年	(1984)	12月	連絡協力車試験的運行開始(2コース)
60年	(1985)	7月	国立国会図書館とのオンライン利用実験実施
61年	(1986)	8月	京都府教育委員会教育長から「生涯学習社会を展望する京都府の図書館のあり方」を京都府社会教育委員会議へ諮問
〃		12月	昭和61年度全国公共図書館参考事務研究集会開催 12月4日～5日 会場 京都堀川会館
62年	(1987)	10月	国立国会図書館とオンライン実施 伏見分館サービス終了(62.10.31) 伏見分館閉館(63.3.31)
63年	(1988)	3月	「京都府の公共図書館 1987年版」刊行
平成元年	(1989)	7月	浜辺一彦館長死去、上田将館長就任(本庁指導部長兼任)
〃		9月	上田将館長退任、林芳男館長就任
〃		10月	図書館資料広域貸出事業開始
〃			「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会と共同刊行
2年	(1990)	3月	京都華頂ライオネスクラブから公用車(ステーションワゴン)の寄贈
〃			「点字・録音図書目録(点字版)」刊行
〃		4月	連絡協力車事業本格実施
〃		6月	機構改革により本館は4課組織に
〃		12月	移動図書館事業終了
3年	(1991)	3月	本館模様替内装工事(受付カウンター・新聞雑誌室・休憩室・ロッカー室・点字コーナー配置換)
〃		4月	ロッカーを自主管理方式に
〃		6月	マイクロリーダープリンターのサービス開始
〃		8月	「連絡協力車だより」発刊
4年	(1992)	4月	林芳男館長退任、柴田實館長就任
〃		9月	毎月第2土曜日 児童室 午前9時半から開室開始
5年	(1993)	3月	「京都府の公共図書館 1992年版」刊行
6年	(1994)	3月	「京都府公共図書館等所蔵 雑誌・新聞総合目録」京都府図書館等連絡協議会、京都府立総合資料館と共同刊行
〃		5月	柴田實館長退任
〃		6月	高木多喜男館長就任
7年	(1995)	2月	阪神・淡路大震災(1月17日)による本館一部被害の補修・

		補強工事実施
平成 7 年 (1995)	5 月	本館老朽化による安全対策のため館内模様替え(事務室の1階への移動等)実施。5月1日から2ヵ月間臨時休館(7月3日再開館)
	8 月	連絡協力車北部コース月2回に運行を拡充。これにより府内全ての市町村へ月2回運行となる
	9 月	一般図書室の天井一部損傷による補修工事実施。9月18日から臨時休館(10月16日再開館)
	12 月	京都府社会教育委員会議が、京都府教育委員会教育長に「生涯学習社会を展望する京都府の図書館の在り方について(提言)」を提出する
8 年 (1996)	3 月	平成8年度当初予算に府立図書館整備費を計上
		高木多喜男館長退任
	4 月	五十嵐一郎館長就任
	9 月	新府立図書館建設基本計画の概要を発表
		9月補正予算に文化財的観点から壁面(東側前面)を保存しながら、新築整備するための基本設計費、現存建物記録調査費及び壁面保存の構造診断調査費等を計上
9 年 (1997)	3 月	平成9年度当初予算に実施設計費、補強設計費、補強工事費、情報ネットワークシステム詳細設計費、蔵書データ電算入力費、埋文調査費、解体設計費・解体工事費等を計上
		宮津・峰山地方分館の閉館(9.3.31)
	4 月	新館整備のため本館を休館(9.4.1～)
	9 月	本館 仮施設(京都市下京区、旧中小企業総合指導所)へ移転完了
10 年 (1998)	3 月	府立図書館解体工事及び壁面(東側前面)保存工事完了
		平成10年度当初予算に、新館建設工事費、情報ネットワーク整備費、図書資料整備費、埋文調査費等を計上
		五十嵐一郎館長退任
	4 月	西山隆史館長就任(本庁指導部長兼任)
	5 月	西山隆史館長退任
	6 月	小山雄一館長就任
	7 月	総合資料館蔵書との一体的データ化作業のため、図書館職員3名を併任発令
	9 月	本館事務室の再移転(旧中小企業総合指導所から隣接の旧女子高等技術専門学校へ)
	11 月	新府立図書館新築工事起工式
11 年 (1999)	2 月	平成10年度近畿地区公共図書館研修の開催(主催:文部省、京都府教育委員会他) 2月15日～2月19日 会場:京都府総合教育センター
	3 月	平成11年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備

			費、図書資料整備費等を計上
平成11年 (1999)	6月		「日本目録規則 1987年版改訂版」「日本十進分類法新訂9版」 「日本著者記号表改訂版」を採用
12年 (2000)	3月		平成12年度当初予算に新築工事費、情報ネットワーク整備 費、図書資料整備費、備品整備費等を計上
〃	5月		国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
〃	10月		新館竣工
〃	11月		仮施設から新館に移転、開館準備作業本格化
〃			「京都府図書館総合目録ネットワーク運営規程」を施行 (1日)
13年 (2001)	2月		仮施設及び府立総合資料館からの図書資料移転終了
〃	3月		中京分館閉館
〃			小山雄一館長退任
〃	4月		中里隆憲館長就任
〃			府教育委員会基本規則を一部改正して図書館の職を整備し、 教育庁係等設置規程を一部改正して2課制(総務課:2係、 資料課:4担当)を施行(1日)
〃			「京都府立図書館の管理運営に関する規則」(平成13年京都 府教育委員会規則第1号)を施行(1日)
〃	5月		「京都府立図書館個人貸出規程」、「京都府立図書館対面朗読 等規程」、「京都府立図書館複写取扱規程」、「京都府立図書館 貴重書データベース利用等規程」、「京都府立図書館外部有料 データベース利用等規程」、「京都府立図書館機関貸出規程」、 「京都府立図書館貸出文庫規程」、「京都府立図書館利用規 程」及び「京都府立図書館連絡協力車事業規程」を施行 (7日)
〃			開館式(10日)、一般開館(11日)
〃			京都府図書館総合目録ネットワークのインターネット発信 開始(10日)
〃			連絡協力車の毎週運行を開始(16日)
〃	6月		京都府図書館総合目録ネットワーク運用開始(1日)
14年 (2002)	4月		「子ども読書絵てがみコンテスト」を実施
15年 (2003)	2月		館内完全分煙の実施
16年 (2004)	3月		中里隆憲館長退任
〃	4月		津守俊一館長就任
18年 (2006)	4月		インターネット貸出待ち登録サービスを開始
〃	12月		京都府図書館総合目録ネットワークに、府内全市町村が参加
19年 (2007)	3月		取寄せ申込みeサービス開始
〃			津守俊一館長退任
〃	4月		松田定館長就任
〃			電話による貸出延長サービスを開始

平成20年 (2008)	1月	源氏物語千年紀記念小展示を開催
〃	3月	源氏物語千年紀記念パネル展示を開催
〃	5月	インターネット貸出延長サービス開始
〃	6月	源氏物語千年紀記念小展示「源氏物語の世界～平安貴族の暮らしと装い～」を開催
〃	9月	源氏物語千年紀記念小展示「源氏物語の世界～平安時代の調べ～」を開催
〃		学校支援セット貸出開始
〃	10月	読書週間記念講演会「王朝の姫君～語りと笛で織りなす『源氏物語』～」の実施
21年 (2009)	1月	「源氏物語パネル」全帖一挙展示を開催
〃	3月	所蔵音声資料の音声目録CD-ROM (デイジー版) を作成、配布
〃		松田定館長退任
〃	4月	勝間喜一郎館長就任

# 京都府立図書館の運営基本方針及び京都府立図書館資料収集方針

## 1 運営基本方針

- (1) 府内の中核的図書館として、図書館資料・情報の総合的な活用を図ります。
  - ①府民に身近な市町村立図書館・読書施設を支援するため図書館協力の中核となる役割を果たします。
  - ②府内の公共図書館の蔵書データを一体化した総合目録を構築し、インターネットで広く公開します。
  - ③府内公共図書館等職員が共有するレファレンス・データベースの構築を推進し、調査相談機能を高めます。
- (2) 総合目録ネットワークや各種電子媒体を駆使して、迅速かつ高度な図書館資料・情報サービスをめざします。
  - ①京都府図書館総合目録、国立国会図書館の総合目録及び国の学術情報システムの検索機能を活用した資料・情報サービスを行います。
  - ②多様なニューメディア資料を駆使した情報サービスを行います。
- (3) 図書館資料・情報サービスによる生涯学習環境の充実をめざして、役割分担を踏まえた市町村支援を行います。
  - ①市町村の図書館サービスを補完する図書館資料・情報の収集を行い、広域的・総合的利用を図ります。
  - ②府内すべての市町村を巡回する連絡協力車により、図書館資料の相互貸借の迅速化を図ります。
  - ③京都に立地する国立国会図書館とも連携したサービスに努めます。
- (4) 総合資料館との連携により、京都らしさのある図書館資料・情報を全国に発信します。

## 2 京都府立図書館資料収集方針

京都府立図書館は、府民の調査研究や生涯学習を支援する府内の図書館ネットワークの中核的図書館として、その役割を果たすための資料を収集します。

- (1) 府民の調査研究の拠点、及び生涯学習を支援する図書館としてふさわしい資料を収集します。
  - ①各分野の基本図書、研究書、専門書、資料集、逐次刊行物を収集します。
  - ②調査相談機能を果たすための参考図書等を収集します。
  - ③各分野の調査研究、生涯学習に役立つニューメディア資料を収集します。
- (2) 府内図書館ネットワークのセンターとして、府内の市町村図書館活動振興のための資料を収集します。
  - ①市町村の図書館では揃えにくい専門書・研究書・資料集等を、府内の図書館からのリクエストを踏まえ収集します。
  - ②市町村図書館からのリクエストによる一般書は、他の市町村図書館に所蔵されていないとき、また相互協力による資料提供が難しいときは収集します。
- (3) 京都府立総合資料館が京都資料、歴史資料、美術資料、官庁資料に重点をおいた収集をしていることに鑑み、両館の機能を踏まえて資料を収集します。
  - ①京都関係資料は、市販された資料を中心に収集します。
  - ②歴史、美術分野の資料は、府民の生涯学習及び市町村図書館を支援する上で最低限必要となる基本図書及び参考図書を中心に収集します。
  - ③官公庁出版物は、市販される年次刊行物を中心に収集します。

事業概要 (平成20年度のまとめ)

平成21年(2009)9月発行

発行者 京 都 府 立 図 書 館

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9

TEL (075) 762-4655 (代)

FAX (075) 762-4653

URL <http://www.library.pref.kyoto.jp>

印 刷 株 式 会 社 大 気 堂

TEL (075) 361-2321

この冊子は再生紙を使用しています。